

身体合併症精神医療の推進に向けた コンサルテーション・リエゾンセンター（CLC）の取り組み

コンサルテーション・リエゾン（CL）推進室

コンサルテーション・リエゾンセンター（CLC）運営理念

院内外の多様なニーズに応え、各所との「橋渡し」を行いながら、関係機関協働のもと、共有できる価値を創造し、市民が心身共に安心して生活できる地域づくりに貢献していく。

医療とメンタルヘルスの動向

2025年問題

2040年問題

8050問題

産後うつ

震災後の
心のケア

コロナ後
うつ

自殺問題

現代医療の背景には、メンタルヘルスの問題がちりばめられている

当院リエゾン精神科の特色

➤ 対象：身体合併症精神疾患患者

➤ 紹介経路

- 1 救急外来や一般外来、救急病棟や一般病棟入院中に生じた精神症状についての身体科からのコンサルテーション
- 2 地域の単科精神科病院や関係機関からの転入院相談

➤ 診療形体

- 1 院内往診（コンサルテーション・リエゾン）
- 2 身体合併症精神科病棟（閉鎖病棟）での診療

一般外来は、限定的に
予約制で実施



コンサルテーション・
リエゾン（院内往診）



自殺企図者
への対応

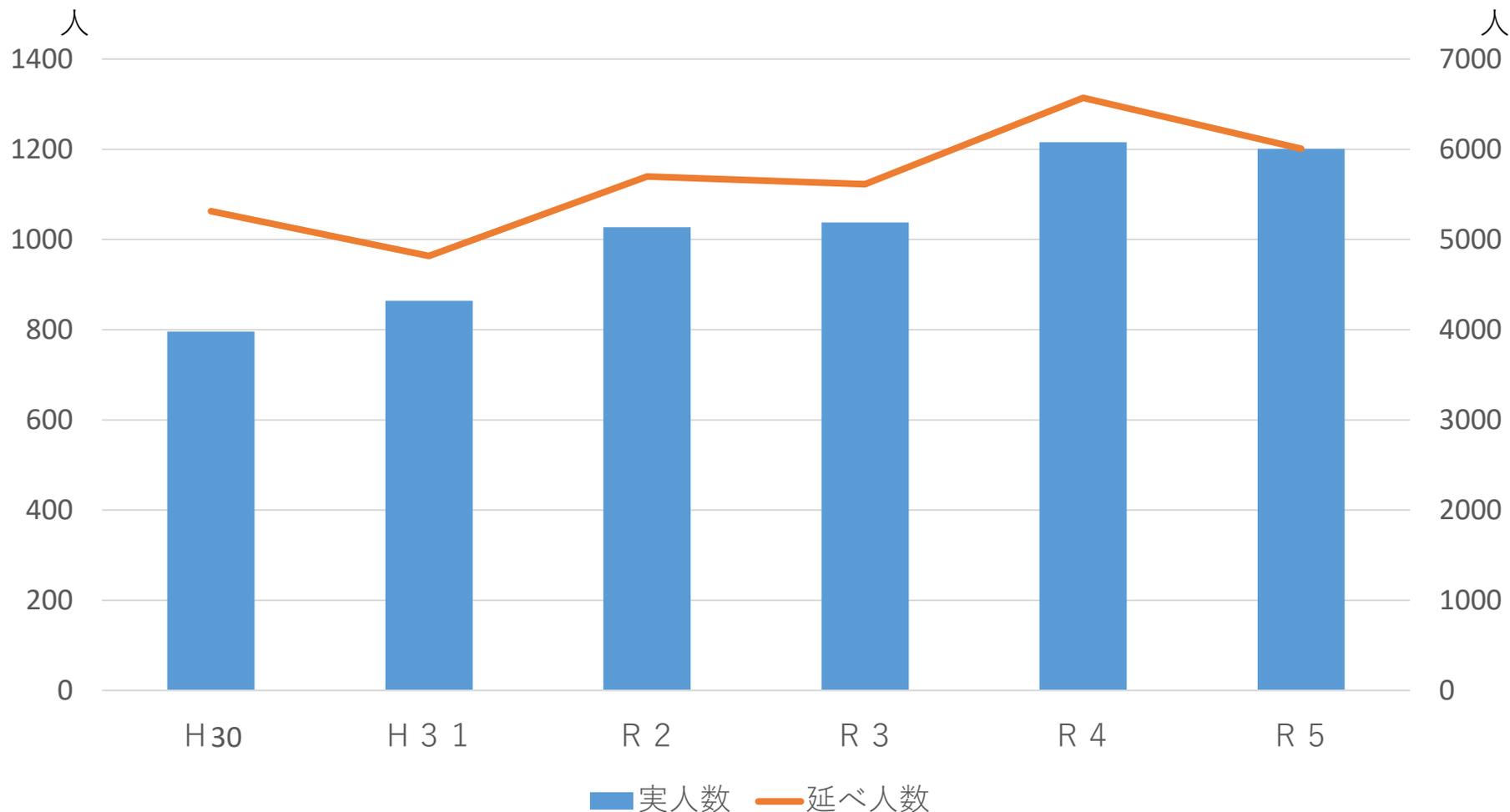


身体合併症精神科救急



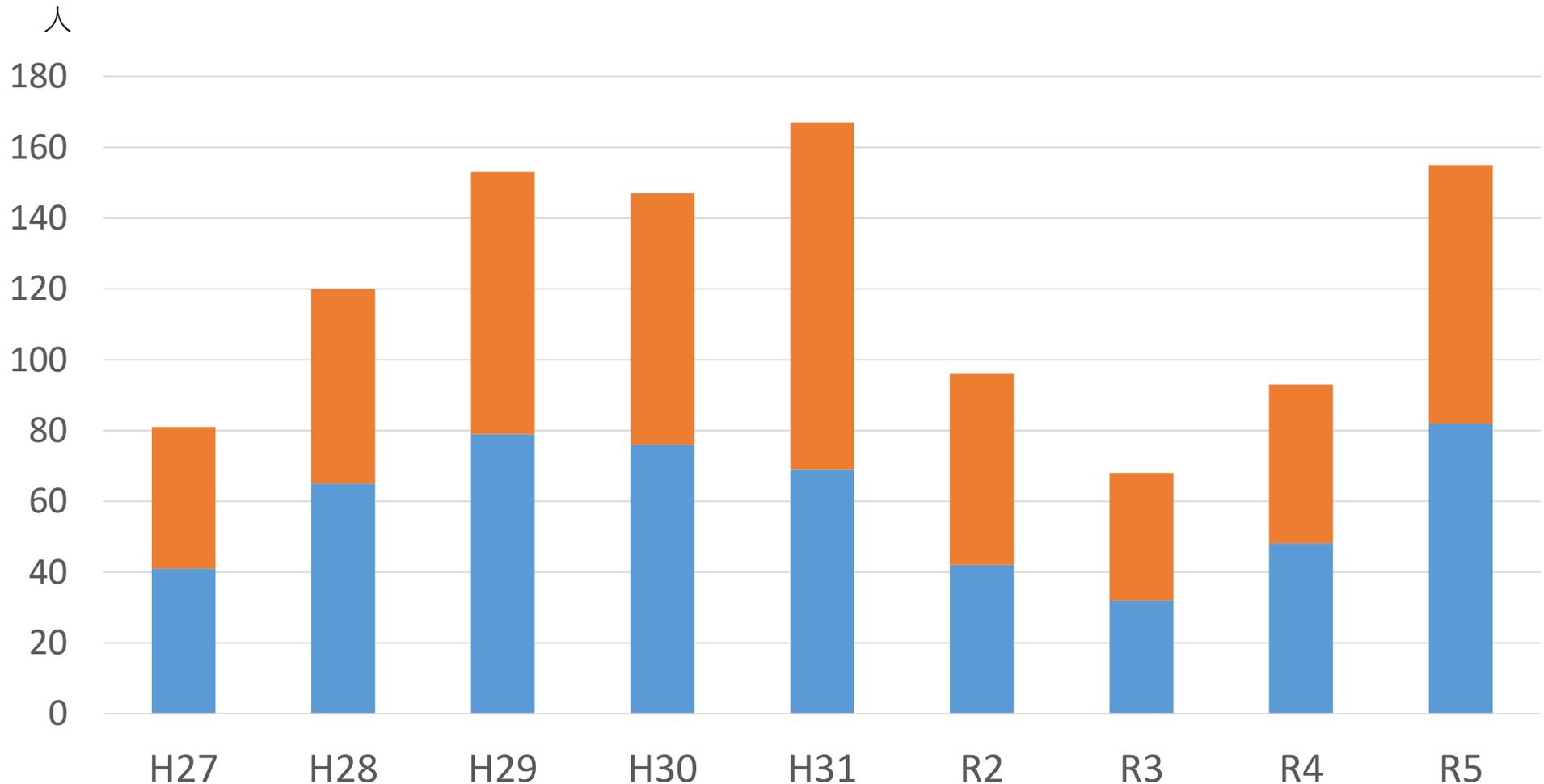
精神病床での診療

院内往診（コンサルテーションリエゾン）



精神病床への入院患者数

■ 男 ■ 女



R2～4は新型コロナウイルスによる入院制限あり

CLC設置の必要性

- ・ コンサルテーション・リエゾンにより
身体科診療をバックアップ
- ・ 院内身体科での認知症・せん妄の対応力向上
- ・ 多くの身体科との共診体制
- ・ 重度の身体合併症精神疾患患者の受入れ
- ・ 多職種でのチーム体制

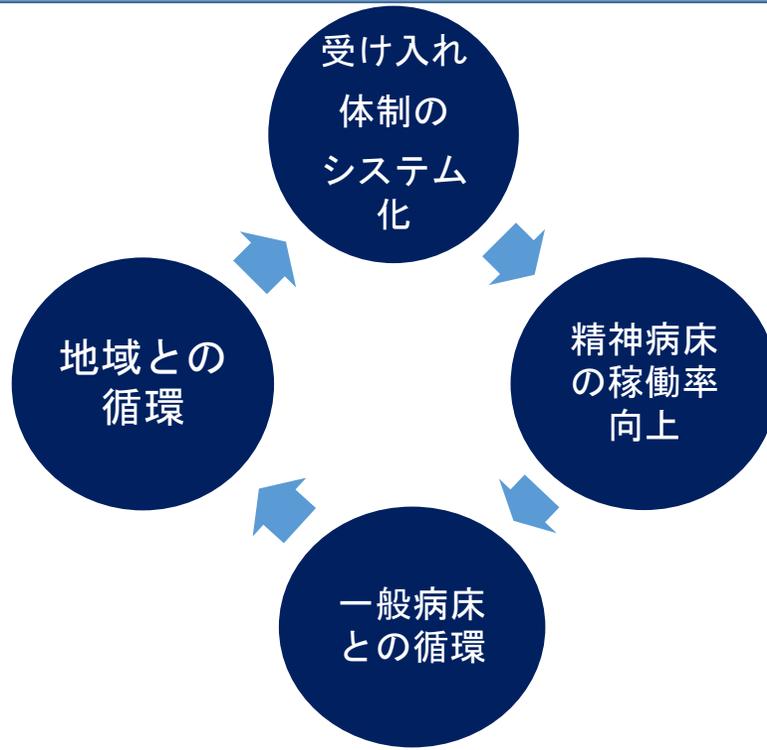
- ・ 依頼件数が増加しリエゾン診療が飽和状態
- ・ 精神科病床の稼働率の低迷
- ・ 相談窓口が不明瞭
- ・ 判然としない要因の精神症状の患者の治療
ニーズへの診療体制が未整備

コンサルテーション・リエゾンと精神科病棟診療を連動させていく
持続可能なしくみが必要

CLCの設置目的

院内および地域から身体合併症精神疾患患者を受け入れ、精神科及び身体科両面からの治療および看護を提供し、地域関係機関との連携のもと、患者の健康や生活・社会的側面を考慮した退院支援を行っていく。

このような地域完結型医療に取り組むことで、地域保健福祉⇔医療の循環システムを醸成し、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの一翼を担っていく



相談窓口の明確化

精神障害者への包括的支援

公立病院としての使命の達成

地域から必要とされ、頼られる病院
(経営理念)

組織と業務内容

診療部

CLC（コンサルテーション・リエゾンセンター）：診療機能

【対象】身体合併症精神疾患患者

- 1 リエゾン精神科医師、身体科医師、総合精神診療医師、による診療
- 2 適切な診療科へのつなぎ
- 3 地域リエゾンによるアウトリーチ支援

コンサルテーション・リエゾン（CL）推進室：連絡調整

【対象】院内専門職、地域関係機関の支援者

- 1 10階病棟受入れ会議の運営
- 2 地域リエゾン（地域関係機関、医療機関）の調整
- 3 広報・企画/連絡調整
- 4 調査研究
- 5 人材育成

身体合併症精神病床への受入れフロー

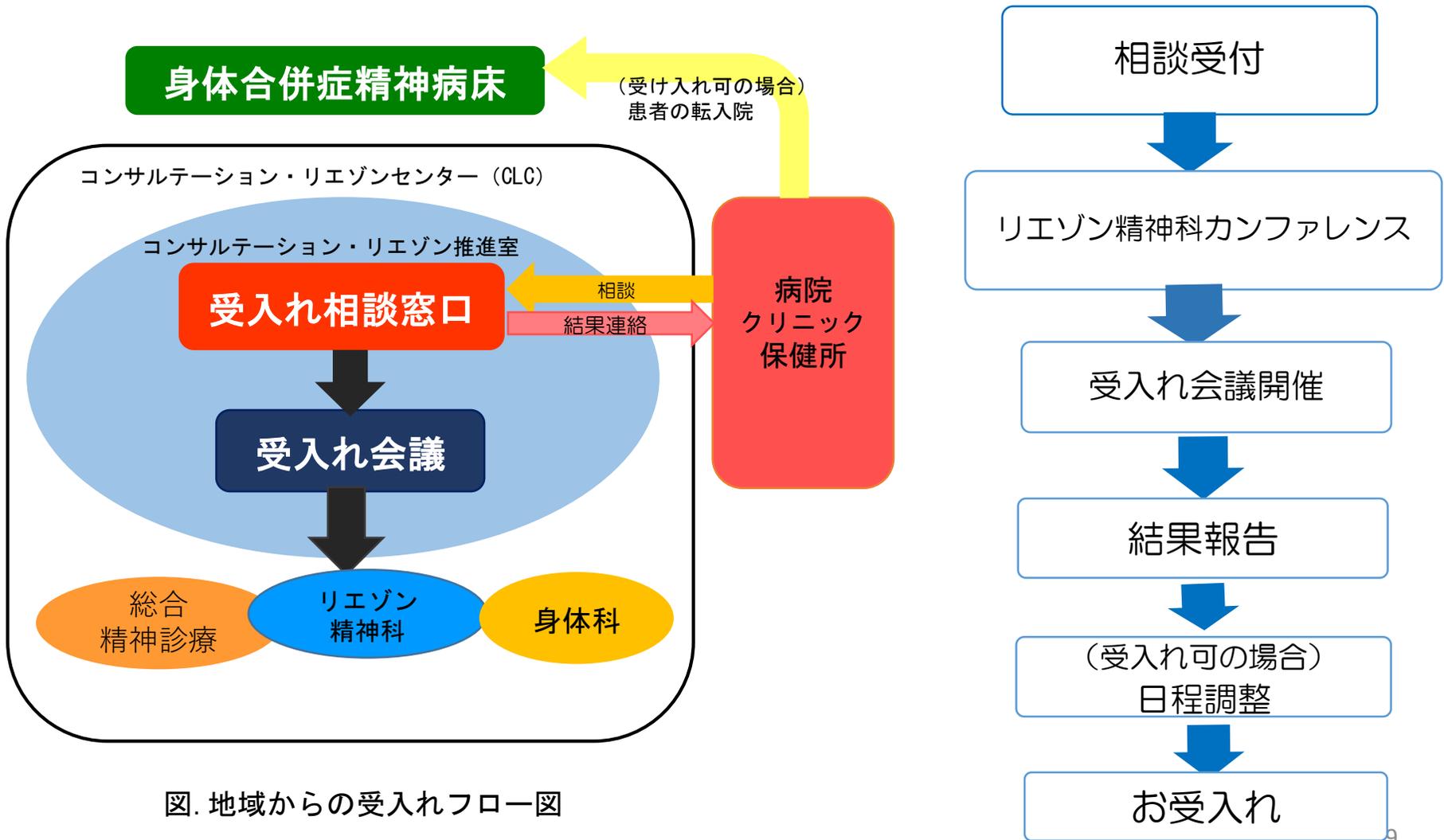
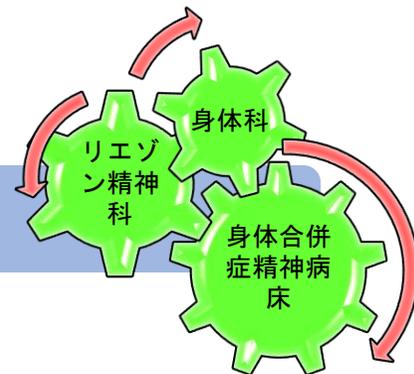


図. 地域からの受入れフロー図

運営方針と今後の課題



1 身体合併症精神疾患患者の受入れ強化

- ・単科精神科病院や、院内や一般身体科病院での治療の限界

2 地域困難事例に対する適切な評価と支援

- ・要因が判然とせず、家族や地域の支援者がつなぎ先に難渋

3 超高齢社会の中で必要とされる「総合診療」における精神科的アプローチ

- ・救急医療における高齢者の複合的な要因（脱水、低栄養、フレイルなど）による問題

短期的
展望

院内受け入れシステム
の確立

虫の目

適時適切な受入れ



長期的
展望

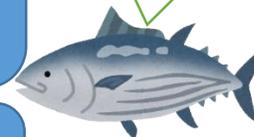
政策医療としての身体合併症精神医療
ニーズへの対応

鳥の目

院内の精神医療の
対応力向上



魚の目



相談にあたってのお願い



- ・対象患者さんの転入院の相談は「コンサルテーション・リエゾン（CL）推進室」にご相談下さい。（※救急は除く）
- ・身体科への外来受診は、総合サポートセンター「医療連携室」にご相談下さい。
- ・相談は、医療機関や保健福祉センターなど関係機関からの相談に限定しています。
患者さんやご家族は、主治医の先生や支援担当者にご相談ください。

※内容によって、より適切な相談窓口を案内させていただくこともありますが、ご了承下さい。

◆ 相談窓口先：仙台市立病院
コンサルテーション・リエゾン（CL）推進室
〔総合サポートセンター内〕

TEL022-308-7111